福島民報　10月18日付け

全国初 ヘリで医師派遣

会津中央病院 救急医療の時間短縮

檜枝岐へ25分で到着

会津若松市の会津中央病院は救急医療の時間短縮のため、ヘリコプターで医師を派遣する事業を十七日から始めた。同病院を経営する温知会によると、医師搬送を目的に病院がヘリを運航するのは全国で初めて。

消防から要請を受け、必要と判断すればヘリとドクターカーの両方を出動させる。先に着いた医師が診察や治療を行い、合流したドクターカーで会津若松市内の病院に運ぶなどして活用する。患者に費用負担は求めない。

同病院のドクターカーの出動は年間約三百回。このうち三割はヘリの方が到着が早いとみている。現在、会津地方を中心に十八カ所の離発着場があり、最も遠い檜枝岐村でも約二十五分で到着するという。

同病院は平成二十一年からヘリを所有していたが、主に南会津地方の患者の搬送に使っていた。町立猪苗代病院との間の医師や患者の輸送、災害時の情報収集にも活用する。温知会が出資するジャパンフライトサービスが運航する。

テープカットで就航を祝う関係者

同日は同病院に隣接するヘリポート前で就航式を行った。南嘉輝理事長は「患者をいち早く医師、看護師の手に委ねることが大事」と意義を語った。

しおかぜ荘29日再開

檜葉、1年7カ月ぶり 町民は当面無料

八月に警戒区域が避難指示解除準備区域に

面は利用を町民限定とし無料開放する。

るという。町によると震災前は大人五百円、

用を検討する。

臨時議会では、無料開放するための入湯税免除に関する条例の一部改正、しおかぜ荘の指定管理者になった町振興公社への業務委託費二千二百万円と修繕

は、池ノ台地区の住宅や店舗など土地建物所有者ら約百五十人が出席。市の担当職員が作業内容はもちろん、除去した表土の保管方法、作業開始のための同意書、事前調査や立

朝日新聞　10月18日付け

会津中央病院が多目的ヘリ更新

救命救急以外にも活用

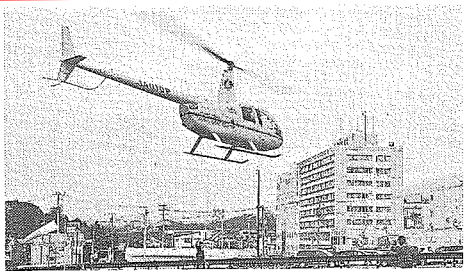
巡航距離640キロ

会津地方の救急医療を担う会津中央病院（会津若松市、898床）が所有していたヘリコプターが更新され、17日に就航式があった。救命医をいち早く現地へ運ぶほか、遠隔地からの患者の搬送、病院間の医師の派遣など、救命救急以外にもヘリ活用の道を開くという。

同病院は救命救急センターをもち、災害拠点病院に指定されている。2008年から常設のヘリポートを運用し、県のドクターヘリによる救急患者を受け入れている。

ヘリを運航するのは同病院が100％出資したジャパンフライトサービス（会津若松市）。これまで所有していたヘリでも09年から患者搬送の実績がある。新たに約7千万円で購入したヘリは米ロビンソン社製。操縦士を含め、定員4人で、巡航距離は約640キロ。民間病院が多目的ヘリを持つのは県内では同病院が唯一という。

ヘリ導入に踏み切ったのは、東京都の倍以上という会津地方の面積の広さにある。医師と看護師がヘ



駐車場近くのヘリポートから飛び立つヘリ。奥が会津中央病院＝会津若松市鶴賀町

して現場へ駆け

療」までの時間を短縮するのが狙いだ。同病院を運営する財団法人「温知会」の南嘉輝理事長は就航式で、「民間救急の本格的な事業の始まり」とあいさつした。

さらに、温知会が指定管理者を務める町立猪苗代病院への医師の派遣、災害現場などでの情報収集にも役立てる。車だと3時間かかる檜枝岐村まで25分で結ぶという。同病院は患者の費用負担を「当面は無償」としている。（石毛良明）

八重の生

偉人を取り上げた創作落語

知られる須賀川市出身の落語

桂幸丸さん(57)が、新作C

「幸丸流　新島八重伝」を完

させた。来年のNHK大河ド

マ「八重の桜」の主人公とな

会津生まれの英雄の激動の生

を、笑いを交えて軽快に語っ

いる。

野口英世と樋口一葉、福沢

吉を取り上げた「新札3部作

「智恵子抄」の高村智恵子を

材にするなどした、落語に上

東京の音楽家沢田さん

福島

福島総局
60-8103
島市舟場町1-28
☎ 024-523-3571
fax 024-521-0305
わき支局
70-8026
わき市平田町120
トプ8階
☎ 0246-23-0241
fax 0246-23-0149
山支局
63-8876
山市麓山1-1-7
☎ 024-922-0563
fax 024-922-0584
☎0242-22-8444
☎0244-22-2463

きょうの天気
12時 降水確率 12~18時